

# リハビリテーション医学

## 1 担当教員名

【研究指導教授】 教授 尾川 貴洋

【科目担当者】

## 2 教育目標

### (1) ねらい

学生は、疾病や外傷で低下した身体的・精神的機能を回復させ、障害を克服するという従来の解釈の上に立ち、ヒトの営みの基本である「活動」に着目し、その賦活化を図る過程をリハビリテーション医学・医療の中心に据える考え方を知るとともに、独創性があり臨床に役立つ研究の展開と先進的な研究を理解する。

### (2) 学修の到達目標

- ① 知識： 学生はリハビリテーション医学・医療について知識を深め応用できる。
- ② 態度： 学生は当事者や多職種とコミュニケーションをとりチーム医療に参加できる。
- ③ 技能： 学生は仮説を立て研究計画を立案し遂行することができる。
- ④ 態度： 学生は研究結果をリハビリテーション診療に還元することができる。

## 3 授業内容

【講義】	リハビリテーション医学・医療概論，リハビリテーション診断，リハビリテーション治療，リハビリテーション支援について講義する。
【演習】	リハビリテーション医学・医療の問題点の抽出と研究計画を構築する。 また，研究計画遂行のために必要な知識と実験技術を習得する。
【実験研究】	運動療法の臨床的・基礎的研究，物理療法の臨床的・基礎的研究，日常生活における活動に関する研究，義肢装具に関する研究，内部障害に関する研究，高次脳機能障害に関する研究，摂食・嚥下機能に関する研究，構音に関する研究，コミュニケーション障害に関する研究，急性期・回復期・生活期におけるリハビリテーション診療の研究，在宅復帰や社会支援に関する研究，栄養管理に関する研究，患者心理に関する研究，スポーツに関する研究，チーム医療に関する研究等について研究を遂行する。

## 4 成績評価の方法・基準

論文，実習態度，課題レポート，ディスカッション内容，定期的なミーティングを通じて総合的に評価する。

## 5 教科書・参考図書

当該学術論文に加えて，日本リハビリテーション医学教育推進機構出版図書等適宜指示していく。

## 6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

自らの研究に関連する研究文献や参考図書を通読し, 1週間に7時間程度の予習・復習が望ましい。

## 7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

リハビリテーション医学・医療に関する論文作成を通して, リハビリテーション医学・医療分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力, 特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。

## 8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

定期的なミーティングにおいて, 直接指導やコメントを通してフィードバックする。

## 9 履修上の留意点

健常者だけでなく障害者を研究対象とすることがあるため, 研究者としての向上心だけでなく配慮のできる人間性が必要である。

## 10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	尾川 貴洋	火	12:00~13:00	C棟10階	内線 22240
		水	12:00~13:00	リハビリテーション医学講座 医局	